

# BODY CONDITIONING

## - 下地調整 -

### 新車／軽研磨・発色調整

「新車なのに研磨するの？」……………はい、新車にこそ研磨を。



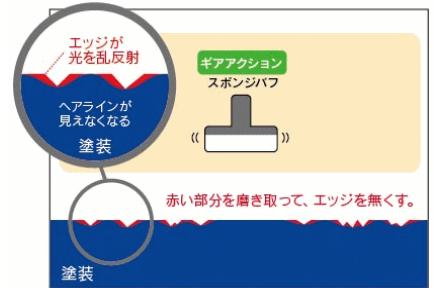
↑ [左側・未研磨] 細かな洗車キズによりオーロラマークが出ています

国産車・輸入車を問わず、どんな新車であっても少なからず水アカ・汚れ・キズがあります。新車といっても、工場→在庫ヤード(屋外)→搬送(船・陸送)→ディーラー…と多くの行程を経て、納車されるまでにダメージを受けてしまうからです。新車にこそ研磨をする理由として、

- ①塗装の状態をリセットし、コーティングの性能を十分に引き出すための完璧な下地を作る
- ②研磨することでくすみを取り、本来の色とツヤを引き出す
- ③研磨工程が少なくて済み、料金設定が割安である

といった理由があります。

#### 作業工程イメージ



### 経年車／2工程研磨(ノーマル)

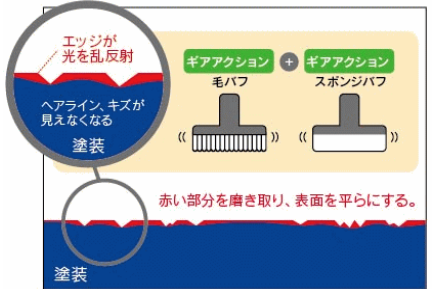
ボディコーティングのための、下地作り。



◆安価なコーティングを謳う施工店や業者の中には、そもそも下地作りを省略してコストカットしたり、キズをシリコン等の油分で埋めて消す「研磨もどき」を行い一時的にキレイに見せている場合がありますので、ご注意ください。

コーティング剤の性能を最大限に発揮させ、なおかつコーティングの効果を長期間持続させるためには、コーティング被膜の「定着」が最も重要となります。水アカなどの汚れや鉄粉を丁寧に取り除き、洗車キズやオーロラマークを研磨して塗装面を平滑にし、コーティング被膜をしっかりとボディに定着させます。

#### 作業工程イメージ



### 経年車／3工程研磨(ハード)

傷んだボディを、新車のようによみがえらせる。



大切にしている愛車でも乗り続ける事で小キズが増え、ツヤが衰えてしまいます。3工程・ハード研磨は、衰えてしまったボディをもう一度新車のように戻す技術です。塗装の状態を見極めて、使用するポリッシャー・バフ・コンパウンドの最適なマッチングを導き出し、3工程に及ぶ研磨を経て「工場出荷状態」に限りなく近いボディコンディションに仕上げます。豊富な経験と卓越した技術を持ち合わせた、プロフェッショナルの妙技が光ります。

#### 作業工程イメージ

